Drive Recorder

LK-7200

取扱説明書

目次

このたびは、LUKASドライブレコーダーを お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、ドライブレコーダー『LK-7200』の機能と操作方法をご案内しています。製品に関する重要な注意事項や、正しい取り扱い方法なども記載されておりますので、ご利用になる前に必ずご一読ください。
また、本書巻末には保証書がございます。注意事項などとあわせて内容をご確認の上、お読みになった後も大切に保管してください。

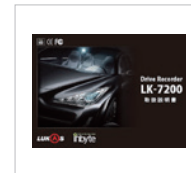
製品の内容

パッケージ内容

LK-7200 本体

UVフィルタ

シガー用 電源コード

SDカード（8GB）

取扱説明書（本書）

オプション（別売品）

偏光フィルタ

常時電源コード

GPSモジュール

AVケーブル

OBDIIモジュール

※パッケージ内容が全て揃っているかご確認ください。（オプションは別売品のためパッケージには含まれておりません）
※製品内容は、機能および品質向上のため予告なく変更することがあります。
※アクセサリは純正品をご利用ください。純正品でない製品を利用した場合、保証の対象外となる場合がございます。
※GPSモジュールは、フロントガラスの上にひさしやルーフなどを設置している場合、GPS信号を受信できない場合があります。
※AVケーブルは外部モニタなどの製品と接続するために使用します。
※偏光フィルタは昼間など明るさが十分な状態で使用することを想定されています。夜間の走行が多い場合や、濃い着色ガラスウィンドウを用いた車両の場合は、正常に撮影出来なくなる可能性がございます。
※偏光フィルタを使用した場合、四隅に映像の欠け（けられ）が発生する場合があります。

各部の名称と動作

	名称	
1	設置用ブラケット	車両のフロントガラスに取り付けます。
2	ブラケットねじ	緩めることで３次元に角度調整することができます。
3	セキュリティLED	駐車中に点滅し、カメラの存在を知らせることでセキュリティ効果を高めます。（本体設定でオン／オフ切り替え可能）
4	レンズ	
5	フィルタ	フィルタを取り付ける事で、レンズを保護します。
6	SDカードスロット	メモリーカードをセットします。
7	Ｅボタン（緊急録画ボタン）	**押したとき：**緊急録画を開始します。 **長押し（３秒）：**手動で駐車モードに切り替えます。 **Ｍボタンと同時押し：**SDカードフォーマットの待機状態に入ります。
8	GPSポート	GPSモジュール（オプション）を接続します。
9	スピーカー	音声案内やジングル音を出力します。
10	セグメントLED	時間や速度、動作状態などを表示します。
11	電源ポート	電源コードを接続します。
12	ビデオ出力ポート	外部モニタとの接続に使用します。
13	電源スイッチ	電源のオン／オフを切り替えます。
14	Ｍボタン（音声録音ボタン）※	**押したとき：**音声録画のオン／オフを切り替えます。 **長押し（３秒）：**セグメントLED・音声案内のオン／オフ（下表のパターンで切り替えます）

セグメントLED	×	○	×	○
音声案内	○	×	×	○

※再起動後も音声案内やセグメント表示の設定を維持したい場合は、本体設定をご利用ください。

ご利用上の注意

警 告　この表示のある事項を守らなかった場合、大けがや死亡事故を引き起こす可能性があります。

»本製品を高い湿度または引火性液体や可燃性ガスにさらされるおそれのある場所で使用しないでください。火災や破裂の原因となります。

»直射日光のあたる場所など、高温になる場所に本製品を長時間放置しないでください。火災または製品故障の原因となります。

»損傷または加工・改造した電源コードを使用しないでください。火災や破裂の原因となります。

»本製品を定格電圧を超えて使用しないでください。火災や破裂の原因となります。

»運転手の視界を遮る場所に本製品を設置しないでください。自動車事故の原因となります。

»濡れた手で本製品を操作しないでください。感電や火災の原因となります。

»本製品の端子部分に金属や可燃性物質などの異物が入らないようにしてください。感電や火災の原因となります。

»お子さまの手の届くところに本製品やそのアクセサリを放置しないでください。誤飲による死亡事故などにつながるおそれがあります。

»電源コードを取り外す際は、本体の電源を落としてから取り外しを行ってください。感電や製品故障の原因となります。

注 意　この表示のある事項を守らなかった場合、大けがや車両の損壊を引き起こす可能性があります。

»常時電源コードの設置は個人では行わないでください。車種により接続方法が異なりますので、必ず専門の技術者に設置をご依頼ください。誤った接続を行うと、製品及び車両事故の原因となるおそれがあります。

»本体やレンズに過度の力をかけないでください。製品故障の原因となるおそれがあります。

»尖ったものや鋭いものを本製品に対して使用しないでください。製品故障の原因となるおそれがあります。

»本製品は防水仕様になっておりませんので、水やワックスをかけないでください。お手入れをする場合は、乾いた柔らかい布を使用してください。

»本製品を分解または改造しないでください。製品が破損したり、データが失われる原因となります。また、分解・改造した製品は保証対象外となります。

»長時間製品を使用すると、環境によっては本体温度が非常に高くなる場合があります。触れる際には十分にご注意ください。

»本製品やそのアクセサリは埃などを避けて保管してください。製品内部に異物が入り、火災や故障の原因となるおそれがあります。

»本製品を長時間使用しない場合、電源コードを抜いてください。

»電源コードやアクセサリは必ず純正品をご利用ください。

仕様について

»本製品は他社製の機器との互換性および併用を保証するものではありません。干渉および互換性に関する問題は、お客さまの責任で行っていただきます。

»本体設定で高温時保護機能が有効になっている場合、本体温度が高くなると動作を自動停止します。

»トンネルへの出入りなど、周囲の明るさが急激に変化した場合、記録画質が一時的に低下することがあります。

»夜間または逆光時など、明るさが極端に弱く（強く）なる場合、記録画質が低下することがあります。

»ご利用のパソコンのスペックによっては、Lukas Viewerが動作しない・音声や映像が途切れて再生される場合があります。

»駐車モード時の動体検知は、動体が光を反射しづらい色（黒や赤など）の場合、夜間では動作しないことがあります。

»動体検知の動作は、設置角度による影響を受けます。誤作動を多く起こす場合は設置角度を調整してください。

»動体検知は、周囲の照明、天候や環境の変化に誤動作することがあります。また、継続的に動体を検知した場合、ファイルが追加して生成されることがあります。

»走行モードと駐車モードを切り替える際、録画が一時的に中止されます。

»車両の駐停車時および発進時には、録画映像に若干のぶれが生じる場合があります。

»録画映像の右端／左端の画質は、広角レンズの特性上、中心部分と異なる場合があります。

»街路灯、電源周波数・周期、およびバックライトのちらつきや周囲の環境により、信号が正しく表示されない場合があります。

»本製品に異常が発生した場合は、INBYTEサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用を続けた場合、問題が悪化する可能性があります。（ご使用方法によっては、通常のサポートを受けることができない場合がございます）

設置について

»本製品の近くに他の物を置かないでください。映りこみが発生し、撮影の妨げとなる場合があります。

»レンズの視界不良が発生しますので、ほこり、汚れなどの物質がレンズに付着しないよう保管してください。

»安全のため、運転中に本製品を動かしたり、取り外したりしないでください。交通事故の原因となります。

»設置は手順に従って正しく行ってください。誤って設置された製品は、脱落や誤作動の可能性があり、運転の妨げとなります。

»録画映像が不鮮明になったり、歪んだりすることがありますので、過度に暗い着色ガラスウィンドウでの使用は避けてください。

»可能な範囲で、アンテナ受信機（カーナビ、ETCなど）から離れた場所に本製品を設置してください。ドライブレコーダーから発生する電磁波により、受信感度が低下する可能性があります。

»偏光フィルタを使用すると録画映像が暗くなることがあります。また、偏光フィルタは、着色ガラスウィンドウや夜間での使用は推奨されません。着色ガラスウィンドウの場合、録画映像に色のちらつきが発生する場合があります。

»偏光フィルタを使用する場合は、UVフィルタを取り外してください。

»偏光フィルタは、設置環境により、四隅の欠け（けられ）を引き起こす場合があります。

GPSの使用について

»GPSの位置測定には15メートル程度の誤差があります。

»GPS信号は周辺の環境（建物、地下、樹木等）の環境によっては受信できない状況があります。

»GPS信号は本体電源がオンになった後に受信を開始します。また、天候や設置場所などの要因により、受信が遅れる場合があります。

»その他の機器（ETCなどの電子機器）や着色ガラスのウィンドウは、GPS受信に影響を与えることがあります。

メモリーカードについて

»本製品の動作中、強制的にSDカードを抜かないでください。SDカードを取り出す前は、必ず本体の電源をオフにしてください。電源がオンになっているときにSDカードを取り外すと、録画データが破損したり、SDカードの故障・誤作動を引き起こす可能性があります。

»週に一回程度を目安に、定期的にSDカードをフォーマットしてください。

»SDカードはその性質上、保存と書込を繰り返すうちに、ファイルシステムが破損し、正常に記録出来なくなる事があります。定期的にフォーマットを行うことで、ファイルシステムの破損を予防できます。

»SDカードには書き込み上限回数があり、消耗品の扱いとなります。交換の目安はおよそ6ヵ月です。（頻繁に使用する場合）

»SDカードは純正品または弊社にて推奨している物をご利用ください。その他のSDカードを使用することにより生じたいかなる問題についても弊社では責任を負いません。

»火傷を避けるために、SDカードを取り外すときは注意して扱ってください。使用環境によっては本体温度が高くなり、SDカードも熱を発する場合があります。取り扱う際は注意してください。

»動作温度は、SDカードの性能によって異なる場合があります。

»残しておきたい録画データは、外部ストレージなどを使用してバックアップしてください。（PC、外付けHDD等）

»Lukas Viewerを介して本体設定を変更する際には、SDカードをフォーマットしてください。SDカードをフォーマットすると録画データも全て削除されますので、必要なデータはバックアップを取ってください。

»SDカードの記憶容量が変化した場合は、必ずフォーマットしてください。そのまま使用すると、重大なエラーが発生することがあります。

»SDカードのフォーマットは、パソコンを使用するか、製品のフォーマット機能を使用してください。

製品の特長

優れたセンサーによる高画質

» フルHD 1920×1080p 30fpsの高画質録画

» 210万画素Samsung製CMOSセンサー搭載

» ゆがみを抑えた有効撮影画角（対角：約125°／水平：約93°／垂直：約51°）

多彩な録画機能

» **常時録画：**運転中、常に録画を行い、3 分間毎に録画データを生成します。

» **イベント録画：**運転中または駐停車中、衝撃を感知する前後の合計30秒を 1 つの録画データにして保存します。

» **モーション録画：**駐停車中、動体を検知する前後の合計30秒を 1 つの録画データにして保存します。

» **緊急録画：**緊急録画ボタンを押す前後の合計30秒を 1 つの録画データにして保存します。

» **高性能な内蔵マイク：**録画と同時に音声録音することができます。録音はオフにすることも可能です。

便利な製品機能

» **録画映像の自動削除：**SDカードの空き容量がなくなったときは、最も古いデータが削除され、最新のデータが保存されます。

» **モードの自動切り替え：**本体設定を行う事で、エンジン停止時に自動で駐車モードに切り替える事ができます。

» **３軸衝撃センサー（Gセンサー）内蔵：**車両への衝撃を監視し、衝撃を感知した場合はイベント録画を開始します。

» **録画映像のリアルタイム出力：**外部ビデオ出力を利用すると、録画中の映像をリアルタイムで確認することができます。（AVケーブルはオプションです）

» **内蔵セキュリティLED：**駐車モードで記録する場合、セキュリティLEDが点滅して、監視中であることを知らせます。

» **リアルタイム通知：**一時間ごとの音声案内を行います。Lukas Viewerの設定によってオフにすることも可能です。

» **OSD表示：**録画映像の下部分に日時を記録します。（外部出力する場合には表示されません）

» **八言語音声ガイダンスサポート：**日本語、韓国語、中国語、英語、ロシア語、フランス語、スペイン語、アラビア語

» **フォーマット機能：**パソコンなしで、本体から直接SDカードをフォーマットできます。

» **手軽な再生：**録画映像は一般的なファイル形式で保存されるので、通常のメディアプレーヤーで映像を再生することもできます。また、Lukas Viewerを使用すれば、映像だけでなく運転情報を表示することができます。

» **多機能なLukas Viewer：**録画データの閲覧のほか、本体設定を変更して様々な環境に対応することもできます。

» **アップグレード機能：**製品の機能向上を図るため、ファームウェアアップグレードをサポートしています。

安全に配慮した保護機能

» **電圧監視機能：**駐車中の録画では、バッテリー保護のため、電圧低下や時間経過によって自動的に電源をオフにすることができます。

» **スーパーキャパシタ内蔵：**突然電源が遮断された場合でも、データを正しく保存して終了することができます。

» **高温時保護機能：**高温（約70℃）になると、自動で電源をオフにし、本体を保護することができます。（設置環境や状況により、機能しない場合があります）

設置方法

本体を設置する前にご確認ください

» **GPSモジュールをご利用になる場合、ブラケットを取り外す必要があります。P.14をご参照ください。**

» 安全に接続を行うため、暗い場所や不安定な地形を避けて車両を駐車してください。車両のエンジンを切り、キーを外してから設置を開始してください。

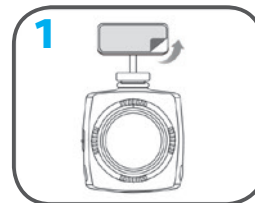
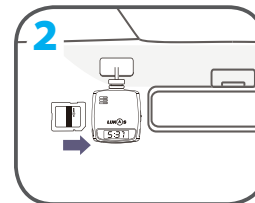
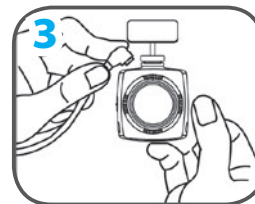
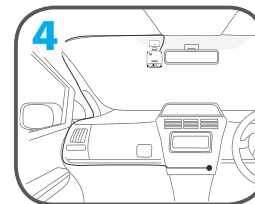
» 設置の前に、カーナビやETCなど、その他の機器との干渉がないことを確認してください。

» 設置の前に、フロントガラスは乾いた布等できれいに掃除してください。また、記録画質を損なわないよう、設置後も清潔に保ってください。

» 本体レンズが指紋や埃などの不純物で汚れている場合、記録画質が低下することがあります。

» 本体レンズが上向きに設定されている場合、正常に動作しない場合があります。

» 本体角度を最終調整する際は、外部モニタなどを接続し、映像をリアルタイム出力しながら行うことをお勧めします。

本体の設置手順

設置場所や本体角度などを仮確認した後、取付けブラケットの両面テープを剥がします。
※設置場所はフロントガラスの上部20%以内であることが法律で定められています。

SDカードをセットした後、本体をフロントガラスに貼付けます。貼付け後、運転手の視界を妨げないことを再度ご確認ください。

本体の電源ポートに電源コードを接続し、Aピラー（運転席横の柱）に沿って電源コードを配線します。
※電源コードの反対側（シガージャック側）は配線が終わるまで接続しないでください。

電源コードをシガーソケットと接続し、エンジンをスタートします。
セグメントLEDにファームウェアバージョンが表示されることをご確認ください。

カメラの推奨角度

本体は上下左右に角度調整することができます。
角度によっては記録画質にも影響が出ますので、フロントガラスへの角度なども加味した上で設置してください。
※録画データの左右20%の範囲に歪曲収差が発生することがありますが、これは広角レンズの特性によるものです。

推奨される設置角度 動体映像（60%） 固定映像（40%）

動体映像と固定映像（車両のボンネット部分）の比率が６：４の割合になっています。
適切な明るさと解像度を維持し、運転手の目線で停止線や信号を撮影することができます。

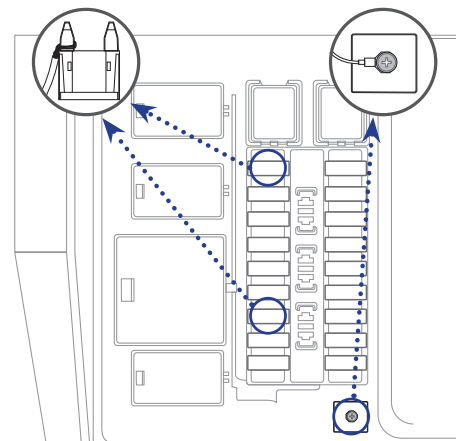
レンズが下を向いている場合 動体映像（50%） 固定映像（50%）

明るさは問題ありませんが、信号の状態が映らないため正確な情報が得られません。

レンズが極度に上を向いている場合 動体映像（100%） 固定映像（0%）

信号の状態は映りますが、ハイライトの基準が太陽光となるため、画面全体が暗くなってしまいます。

常時電源コード（オプション）の設置手順

駐車モードの使用には常時電源コード（オプション）が必要です。
また、ヒューズボックスへの接続が必要になりますので、個人で設置を行わず専門業者へご依頼ください。
誤った配線を行うと、製品や車両が故障する原因となります。

※接続箇所は車種により異なります。

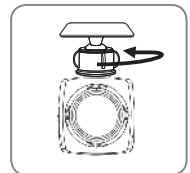
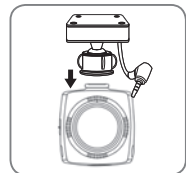
1. エンジンが掛かっていないことを確認し、ヒューズボックスの蓋を開けます。（ヒューズボックスの位置は車種により異なります）
2. 常時電源コードのBATT線（黄コード）を、常時電源が入るヒューズ（室内灯、ハザードランプ等）のいずれか１つに接続してください。
3. 常時電源コードのACC線（赤コード）を、アクセサリー電源が入るヒューズに接続してください。
4. 常時電源コードのGND線（黒コード）を、アース取り付け部分に接続します。
5. ケーブルクリップを使って常時電源コードを配線してください。
6. 常時電源コードをフロントカメラの電源ポートに接続してください。

AVケーブル（オプション）で外部ディスプレイと接続する

オプションのAVケーブルを使用することで、ドライブレコーダーと外部モニタを接続し、リアルタイムで撮影画面を確認することができます。
この機能を使うことで、カメラの設置角度を調整しやすくなります。
※角度を調整する場合、一度AVケーブルを外してください。外部出力中にAVケーブルが不安定になると、書き込み不良の原因となります。
※GPSの情報は外部出力映像には表示されません。

1. 本体のビデオ出力ポートに、オプションのAVケーブルを接続します。
2. 接続したい外部モニタのビデオ入力ポートにAVケーブルを接続します。本体の起動が完了すると出力を開始します。

GPSモジュール（オプション）を使用する

オプションのGPSモジュールを使用することで、録画映像と位置情報を関連付けられるほか、速度なども取得することができます。
※GPS信号を受信しづらい場合は、設置場所や角度の調整を行ってください。
※フロントガラスの上にひさしやルーフなどを設置している場合は、受信できない場合があります。

付属のブラケットを取り外す

GPSモジュールを取り付ける

1. ブラケットねじを右に回し、ブラケットを取り外します。
2. GPSモジュールを本体のブラケットマウントにセットし、ねじを左に回して固定します。
3. GPSモジュールの端子を本体のGPSポートに差し込みます。
4. GPSモジュール上面に設置用テープを貼り付け、フロントガラスに取り付けます。

製品の動作概要

本体の起動

SDカードが本体に挿入されていることを確認し、車両のエンジンをスタートさせてください。本体は自動的に起動します。

起動中：LEDセグメントにファームウェアバージョンが表示されます。その後、30秒ほどで時間表示に変わります。
起動完了：『録画を開始します』という音声アナウンスが流れた後、録画・録音が開始されます。

録画中の注意点

録画中にSDカードを取り外した場合、録画データを正常に保存することができなくなります。正常に保存できなかったファイルは、読み取り不能な破損ファイルとしてSDカード内に残ってしまいます。破損ファイルは本体やSDカードの誤作動・故障の原因となりますので、**録画中は絶対にSDカードを抜き差ししないでください。**

録画の終了

常時電源コードを使用していない場合　車両のエンジンをオフにすることで、本製品も自動的にシャットダウンされます。
常時電源コードを使用している場合　一定時間後、駐車モードに移行します。移行までの時間は本体設定で設定することができます。

SDカードを取り出す

本体の電源スイッチをオフに切り換えます。（緊急録画の終了直後は約20秒お待ちください）
LEDセグメントに『SEE you』と表示された後、電源がオフになります。
電源が完全にオフになったのを確認後、本体からSDカードを取り外してください。

SDカードをフォーマットする

EボタンとMボタンを同時押しでフォーマット待機状態となり、その状態でもう一度Eボタンを押すと、フォーマットが開始されます。
※フォーマットを行うと全ての録画データが消去されます。また、フォーマット中は録画が中止されます。

製品を長期間使用しない場合

『SDカードを取り出す』の手順を行った後、シガージャックから本体・電源コードを取り外すと、バッテリーの放電を防止することができます。

２つのモードによる録画

本製品には『走行モード』と『駐車モード』が搭載されています。常時電源コード使用時は、車両の状態にあわせてモードを切り替えます。

※駐車モードを使用するにはオプションの常時電源コードが必要です。
※初期設定の場合、エンジンをオンにすると自動で走行モードが起動し、常時録画が開始されます。
※本体設定を変更した場合は、起動後の動作が異なる場合があります。

走行モード中の録画

走行モード中は常時録画を行い、衝撃を感知するとイベント録画に切り替わります。（本体設定でイベント録画のみに変更することも可能です）

録画方式名	詳細	保存フォルダ名
常時録画	走行モード中における標準の録画方式です。３分単位の録画データを常に生成し続けます。	AlwaysMovie
イベント録画	衝撃を感知すると自動で常時録画から切り替わります。衝撃感知の前後（合計30秒）の録画データを１つのファイルとして保存します。衝撃感知のレベルはLukas Viewerで変更ができます。 ※イベント録画中に他の衝撃を感知しても、実行中の録画が完了するまでは動作しません。 ※イベント録画中に電源をオフにした場合、電源はイベント録画完了後にオフになります。	EventMovie
緊急録画	Eボタンを押すことで、常時録画から切り替わります。ボタンを押す前後30秒の録画データを１つのファイルとして保存します。 ※イベント録画中は動作しません。 ※緊急録画中に衝撃を感知しても、イベント録画は動作しません。	EventMovie

駐車モードへの切り替え

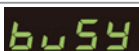
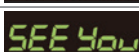
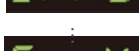
駐車モードは、オプションの常時電源コード使用時のみ利用できます。駐車モードへの切り替えは、手動と自動の２つの方法があります。

手動：LEDセグメントに『PAr』という表示が点滅するまで、Eボタンを３秒以上長押しします。
自動：本体設定で『駐車モードへの自動移行』が許可されている場合は、駐停車後に自動で切り替わります。
モードの切り替えが完了すると、LEDセグメントには『PAr』という表示が点滅します。

※モード切り替え中は録画を中止します。そのため、約５秒程度の撮影されない時間が生じます。
※エンジン停止中にバッテリー電圧が低下した場合、電圧監視機能が動作し、録画が中止されます。
※駐車モード中に保存された録画データの下部には『Parking』と表示されます。
※イベント録画・緊急録画中の場合、駐車モードへの切り替えに時間がかかる場合があります。

駐車モード中の録画

駐車モード中は常時録画を行わず、イベント録画またはモーション録画のみ行います。動体や衝撃の感知レベルは本体設定で変更することができます。

録画方式名	詳細	保存フォルダ名
イベント録画	衝撃を感知すると動作を開始します。衝撃感知の前後（合計30秒）の録画データを１つのファイルとして保存します。衝撃感知のレベルはLukas Viewerで変更ができます。 ※衝撃を感知するとセキュリティLEDが高速点滅します。 ※イベント録画中に他の衝撃を感知しても、実行中の録画が完了するまでは動作しません。 ※イベント録画中に電源をオフにした場合、電源はイベント録画完了後にオフになります。	EventMovie
モーション録画	カメラの範囲内に動体を検知すると動作を開始します。動体検知の前後（合計30秒）の録画データを１つのファイルとして保存します。 ※動体を検知するとセキュリティLEDが高速点滅します。 ※暗い場所では動体を検知しづらい場合があります。 ※撮影環境により、録画映像の一部が途切れる（フレームが脱落する）場合があります。	MotionMovie

LEDセグメントの表示内容

イベント録画中はLEDセグメントの表示が点滅します。

セグメントの表示	詳細
Uc 31	**起動時** ファームウェアのバージョンが表示されます。
5:09	**起動完了後** 起動が完了すると駐停車した時間が表示されます。※1
6.09	**起動完了後** 起動が完了すると駐停車した日付が表示されます。※1
53	**走行モード中** 走行モード中（常時録画中）は速度を表示します。※2
˙	**音声録音中** 音声録音中の場合、右上のドットが点滅します。
.	**HD録画中** 録画設定がHD（720P）の場合、右下のドットが点滅します。
LoPo	**電圧低下中** 本体起動時、極端に電圧が低い場合に表示されます。この表示が出た場合、録画を行わずに終了します。
dru	**走行モード→駐車モード切り替え時** Eボタンを押して駐車モードを開始した場合は、『PAr』と表示されます。
PAr	**駐車モード→走行モード切り替え時** Eボタンを押して駐車モードから復帰した場合は、『drv』と表示されます。

※１　本体設定によって表示されないことがあります。
※２　GPSまたはOBD接続時のみ表示されます。また、本体設定によって表示されないことがあります。

セグメントの表示	詳細
UPdA	**ファームウェアのアップデート開始時** ファームウェアのアップデートを開始すると、『UPdA』と表示されます。
For	**SDカードフォーマット開始時** SDカードのフォーマットが開始されると『For』の表示が点滅します。
Sd_FAIL	**SDカードが認識できないとき** SDカードが認識できない場合、『Sd_FAIL』と表示されます。
buSy	**SDカードのフォーマットが必要なとき** SDカードをフォーマットする必要がある場合、『buSy』と表示されます。
SAFE	**本体が高温環境にさらされたとき** 高温時保護モードが開始され、『SAFE』と表示されます。
SEE You	**電源スイッチをオフにしたとき** 電源スイッチをオフにすると『SEE you』と表示され、電源がオフになります。
CHE	**SDカード読み取りエラー発生時** SDカードの読み取りエラーが発生した場合、『CHE』と表示されます。
Err0 : Err4	**各種エラー発生時** Err0：RTCに異常があります。サポートセンターへ連絡してください。 Err1：カメラが認識できません。接続を確認してください。 Err2：SDカードにエラーが発生しました。SDカードをフォーマットしてください。 Err3：録画に異常があります。サポートセンターへ連絡してください。 Err4：GPSモジュールとの通信に異常があります。接続を確認してください。

音声案内の内容

音声案内の内容	詳細
「録画を開始します」	録画開始時
ジングル音	イベント録画または緊急録画
「音声録音を開始します」／「音声録音を解除します」	録音のオン／オフ
「セグメントをオフにして音声案内を行います」 「セグメントをオンにして音声案内を終了します」 「セグメントをオフにして音声案内を終了します」 「セグメントをオンにして音声案内を行います」	セグメントと音声案内のオン／オフ
「走行録画モードに切り替えます」	走行モードへの切り替え時
「駐車録画モードに切り替えます」	駐車モードへの切り替え時
「フォーマット待機中です。左側のキーを押すとフォーマットされます」	SDカードフォーマットの待機時
「SDカードのフォーマットを行います」「電源を切らないでください」	SDカードフォーマットの開始時
「処理が完了しました」	SDカードフォーマットの終了時
「SDカードがありません。SDカードを挿入してください」	SDカードが認識できない場合
「録画失敗です」「フォーマットしてください」	録画が正常に行えなかった場合
「システムを終了します」	電源をオフにした場合
「〇時です」	毎時間ごと（本体設定で選択した場合のみ）

録画データの閲覧と本体設定

録画データをパソコンで表示する

1 本体の電源スイッチをオフに切り換えます。（緊急録画の終了直後は約20秒お待ちください）
LEDセグメントに『SEE you』と表示された後、電源がオフになります。電源が完全にオフになったのを確認後、SDカードを本体から取り外してください。

2 本体から取り出したSDカードを、パソコンのSDカードスロットに挿入します。

3 SDカードはリムーバブルディスクとして認識されます。下図のようなウィンドウが表示たら、『フォルダを開いてファイルを表示』をクリックしてください。
録画データや運転情報が保存されたフォルダが表示されます。

AlwaysMovie：常時録画
DrvInfo：運転情報
EventMovie：イベント録画
MotionMovie：モーション録画

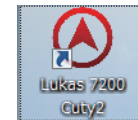
Lukas Viewer（ルーカス ビューワー）をインストールする

1 インストールするためのファイル『Setup.exe』は、セットに付属のSDカードに含まれています。『録画データの閲覧と本体設定』の手順１を参照に、本体からSDカードを取り外し、パソコンに挿入してください。

2 SDカードの中にある『Setup.exe』をダブルクリックすると、セットアップウィザードが開始されます。確認画面が表示されるので、『Next』をクリックしてください。

3 インストールするフォルダと、プログラムを使用するユーザーの範囲を選択し、『Next』をクリックしてください。

4 インストールを実行する最終確認が表示されます。『Next』をクリックするとインストールが開始されます。

5 インストール完了後は『Close』をクリックして、インストールウィザードを終了してください。
正常にインストールが完了すると、デスクトップにショートカットアイコンが表示されます。

Lukas Viewerの画面構成

※GPS情報の取得にはオプションのGPSモジュールが必要です。
※GPS連動マップの表示には、オプションのGPSモジュール・インターネットに接続できる環境・Internet Explorer7.0以上のブラウザが必要です。

・フルHD画質の録画データを閲覧する場合、フルスクリーンモードをご利用いただくことで、細部の確認がしやすくなります。
・Lukas Viewerのデザインやボタンの位置は、バージョンなどにより異なる場合があります。

必要スペック

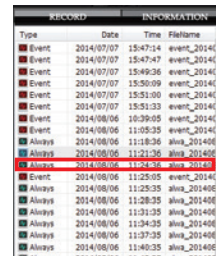
WIndows OS	Vista（32bit）、7（32bit／64bit）
ハードウェア	Quad core 2.8Ghz/4G RAM
ブラウザ	Internet Explorer 8.0以上
Direct X バージョン	Direct X9.0以上
その他	Windows.NET Framework3.5

録画ファイルを読み込む

1 本体からSDカードを取り外してパソコンに挿入します。

2 パソコン側でLukas Viewerを起動します。

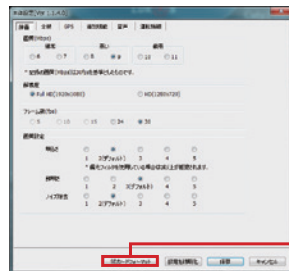
3 ■を押し、SDカードが挿入されているドライブを選択します。

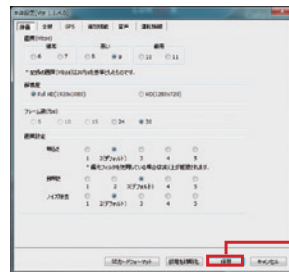
4 録画データ一覧にファイルが表示されます。
ファイル上でダブルクリックすると再生を開始します。次のファイルがある場合は連続で再生します。

本体設定の変更・保存

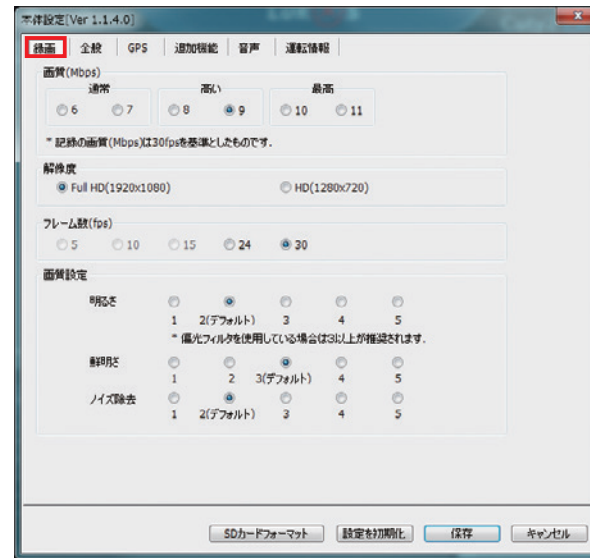
1 本体からSDカードを取り外してパソコンに挿入した後、Lukas Viewerを起動します。

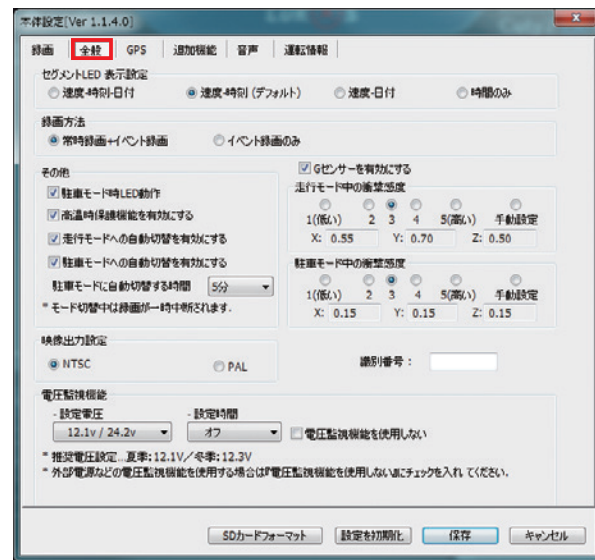
2 ■ をクリックし、SDカードが挿入されているドライブを選択します。

3 ⚙ を押し、本体設定ウィンドウを開きます。

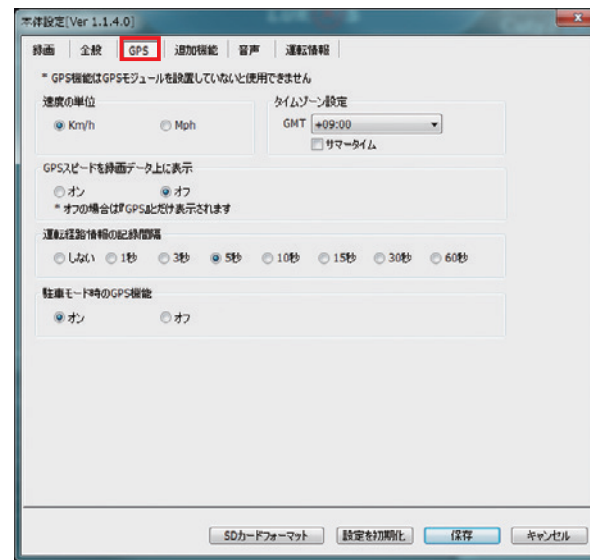
4 **設定変更前は、必ずSDカードをフォーマットします。**
SDカード内のデータがすべて削除されるので、大切なデータはパソコンに移すなど、バックアップを取ってください。
バックアップを取った後、本体設定ウィンドウの『SDカードフォーマット』をクリックします。

5 SDカードフォーマットの完了後、本体設定ウィンドウのタブをクリックして切り替え、任意の項目に変更を加えます。
※『設定を初期化』をクリックすると、全タブの全項目を初期設定に戻します。

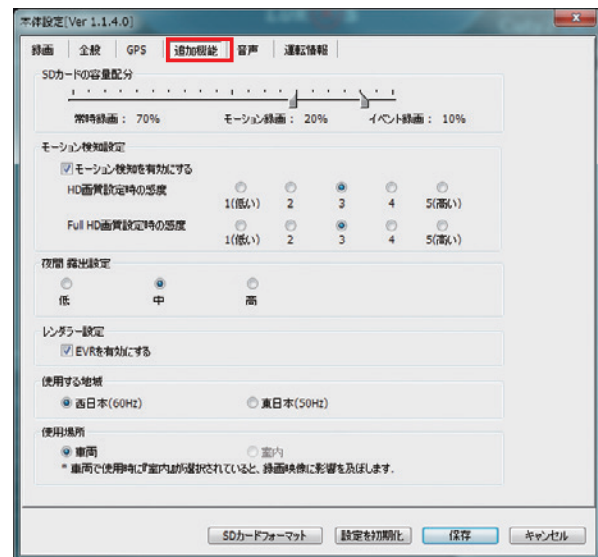
6 設定に変更を加えた後は『保存』を押し、SDカードに設定を保存します。
※『追加機能』タブの『SDカード容量配分』を変更した場合は、もう一度フォーマットを行ってください。

7 保存を終えたSDカードを本体に挿入し、起動すると、設定が反映されます。

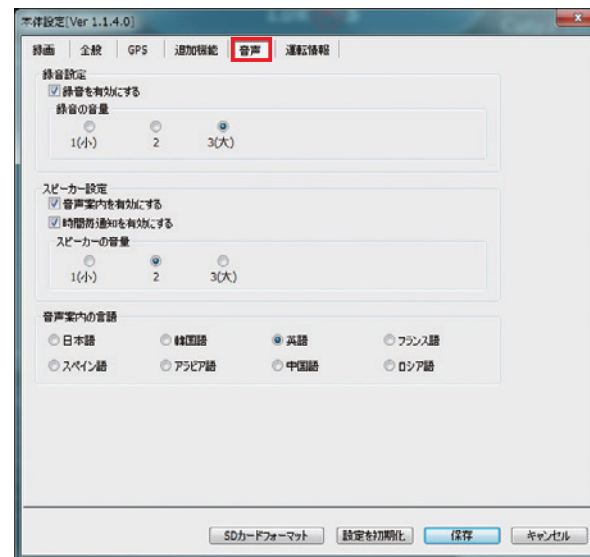
本体設定の内容（録画）

項目名	詳細
画質（Mbps）	録画の画質を設定します。 数値はMbps（情報の転送量）を表し、高いほど画質は良く、ファイルサイズは大きくなります。選択できるMbpsの値はfps設定により変動します。
解像度	録画の解像度を設定します。FullHDに設定すると画素数が多くなり、より精細に録画できます。
フレーム数（fps）	録画１秒あたりのフレーム数を設定します。数字が大きいものほど滑らかに録画できます。 通常は24または30のみ選択できます。
画質設定	**明るさ** 録画データの明るさを変更します。 偏光フィルターを使用している場合は、明るさ３以上が推奨されます。
	鮮明さ 録画データの鮮明さを変更します。 大きい数字を選択するほど録画データのコントラストがはっきりしますが、場合によっては画面が荒れてしまう場合があります。
	ノイズ除去 録画データに発生するノイズの除去レベルを設定します。 大きい数字を選択するほど録画データのノイズが除去されますが、場合によっては画面がぼやけてしまう場合があります。

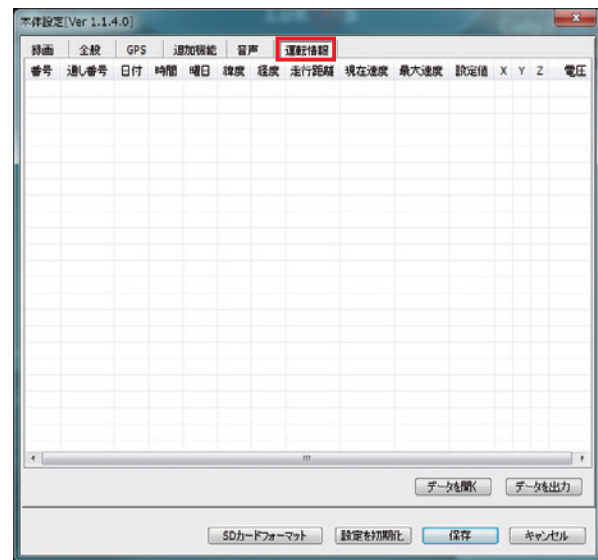
本体設定の内容（全般）

項目名	詳細
セグメントLED表示設定	本体起動後、セグメントLEDに表示する情報を選択します。
録画方法	撮影に使用する録画方式を選択します。
その他※	**駐車モード時LED動作** 駐車中にセキュリティLEDを点滅させるかを選択します。
	高温時保護機能を有効にする 本体温度が高くなった場合に、自動で動作を停止する機能の使用を選択します。
	走行モードへの自動切替を有効にする **駐車モードへの自動切り替えを有効にする** エンジンのオン／オフでモードを切り替えるかを選択します。駐車モードへの自動切替が有効な場合、駐車モードへ移行するまでの時間を選択できます。
Gセンサーを有効にする	チェックを入れると、Gセンサーによる衝撃感知が有効になります。
走行モード中の衝撃感知レベル	各モード中、衝撃を感知したと判断する度合いを設定することができます。『手動設定』にすると、0.05～1.50の範囲で、任意の数値を入力することができます。
駐車モード中の衝撃感知レベル	
映像出力設定	映像出力の際に使用する映像方式を選択します。
識別番号	複数の車両を使用している場合、どの車両の設定か管理しやすくするための識別番号を設定できます。半角英数字で８文字まで入力できます。
電圧監視機能	駐車モード中に電源をオフにする条件について設定する項目です。

※オプションの常時電源コードをご利用の場合に使用できる機能です。

本体設定の内容（GPS）

項目名	詳細
速度の単位	LEDセグメントの速度の単位を選択します。
タイムゾーン設定	GMT（グリニッジ標準時間）との時差を選択します。日本の場合は『+9:00』を選択してください。サマータイムを採用している地域は『サマータイム』にチェックを入れてください。
GPSスピードを録画データ上に表示	オンのとき、録画映像にGPS測定による速度情報を表示します。
運転経路情報の記録間隔	運転情報を記録する間隔を設定します。少ない秒数を選ぶほど頻繁に記録します。
駐車モード時のGPS機能	駐車モード中でもGPS機能を使用するかを選択します。

本体設定の内容（追加機能）

項目名	詳細
SDカードの容量配分	各録画方式がSDカードに占める割合を設定します。ただし、割合を10%未満にすることはできません。また、設定変更後にはSDカードをフォーマットする必要があります。
モーション検知設定	モーション録画のオン／オフを切り替えます。また、画質設定ごとに動体検知の感度を選択することができます。
夜間露出設定	夜間自動露出の調整を行います。セダンでは中、SUVでは高が推奨されます。（車高により対向車からのヘッドライトの当たり具合が異なるため）
レンダラー設定	EVR（Enhanced Video Renderer）の使用を選択します。
使用する地域	本体の使用地域を選択します。
使用場所	本体の設置場所を選択します。通常のファームウェアでは変更できない設定となっています。

本体設定の内容（音声）

項目名	詳細
録音設定	音声録音の使用や、記録する音の大きさを設定できます。
スピーカー設定	音声案内の使用や、時間毎のアナウンスなどを設定できます。
音声案内の言語	音声案内で流れる言語を選択することができます。

運転情報の確認

項目名	詳細
No	番号
Order	通し番号
Date	日付
Time	時間
Day	曜日
Latitude	緯度
Longitude	経度
Mileage	走行距離
Current Speed	現在速度
Top Speed	最大速度
Value	設定値
X	Gセンサー感度(X)
Y	Gセンサー感度(Y)
Z	Gセンサー感度(Z)
BAT	電圧

項目の境目部分をドラックすることで、内容が表示される幅を調整することができます。

管理方法

お手入れの方法

»レンズに汚れや異物が付いた場合、柔らかい布で拭き取ってください。直接レンズに触れないでください。

»録画映像の精度を維持するために、レンズに手で触れたり、他の物と接触させたりしないでください。

»本体に汚れや異物が付いた場合、ティッシュや柔らかい布などで拭き取ってください。

»本体の端子に異物が入った場合は、無理に取り出したり分解したりせず、販売店に修理を依頼してください。

保管の方法

»本製品を長期間使用しない場合、車両から取り外し、屋内に保管してください。

»本製品を車両から取り外す際は、エンジンをオフにする(駐車モードを利用していない場合)・電源スイッチをオフに切り替えるなど、録画を正常に終了した状態で取り外してください。

»保管の際は、箱に入れるなどして、埃がかからないようにしてください。

»湿度が高い場所・高温になる場所・直射日光のあたる場所を避けて保管してください。

»保管の際は、性能が低下することを防ぐために、メモリーカードは取り外してください。

メモリーカードの取り扱い注意点

SDカードには書き込み可能回数の上限があり、ドライブレコーダーは容量の大きい動画データを常時書き込むため、他製品での利用よりも消耗が激しくなります。
書き込みエラーや破損データの発生を防ぐため、SDカードは定期的に点検を行い、場合によってはフォーマットするなどのメンテナンスをしてください。

ドライブレコーダーでSDカードフォーマットを行う

本製品にはSDカードをフォーマットする機能が付属しています。
フォーマット方法については、P15『製品動作の概要』の『SDカードをフォーマットする』をご参照ください。

専用フォーマッターのご案内

弊社では、安全な状態でメモリーカードを使用するため、専用のフォーマットソフトを使用することを推奨しております。
メモリーカード規格を策定する『SDアソシエーション』から、専用のフォーマットソフトが無料で提供されています。
下記URLをご参照ください。

SDアソシエーション　SD／SDHC／SDXC用SDフォーマッター4.0
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

※本内容は2014年10月現在の情報に基づいて作成されたものです。

故障かな？と思ったら

»エンジンをオンにしても電源が入らない

- 本体の電源スイッチをご確認ください。スイッチがオフになっている場合、エンジンをオンにしても製品は動作しません。
- 純正品の電源コードを使用しているかご確認ください。
- 電源コードが正しく接続されているかご確認ください。電源コードの端子がぐらついていたり、配線などによって電源コードが強く曲げられている場合、製品の動作に支障をきたすおそれがあります。

»セグメントLEDに何も表示されない

ボタン操作によってセグメントLEDの表示がオフになっていないかご確認ください。

➡参照：P. 4 - 5『各部の名称と動作』

»音声案内が流れない

本体設定やボタン操作によって音声案内がオフになっていないかご確認ください。

➡参照：P. 4 - 5『各部の名称と動作』、P.29『本体設定の内容（音声）』

»ボタン操作がきかない

- 本体の起動が完了しているかご確認ください。
- 本体の動作状態をご確認ください。動作状態によっては、特定のボタン操作を受け付けない場合があります。

»頻繁にイベント録画（モーション録画）が行われる

- 本体設定で衝撃感知（モーション検知）の値を変更してください。

➡参照：P.26『本体設定の内容（全般）』、P.28『本体設定の内容（追加機能）』

»付属のSDカード内に『Setup.exe』がない

- LukasViwerをダウンロードするための『Setup.exe』は株式会社INBYTEのホームページ（www.inbyte.jp）からダウンロードできます。

»パソコンで録画データを再生できない・映像が荒れる

- Lukas Viewerのご利用をお試しください。また、パソコンの性能や環境によっては、録画データが正しく再生できない場合があります。

»交換用SDカードを購入したい

- SDカードご購入の際は、正規代理店で専用のSDカードをご購入ください。他のSDカードをご利用したことによる不具合に関しては、弊社では一切サポートいたしませんのでご注意ください。

本体ファームウェアのアップグレード

アップグレード前は必ずSDカードをフォーマットしてください。

1. インターネットに接続できるパソコンから株式会社INBYTEのホームページ（www.inbyte.jp）に接続し、最新のファームウェアをダウンロードします。
2. 本体からSDカードを取り出し、パソコンで読み込みます。リムーバブルディスクとして認識されるので、『フォルダを開いてファイルを表示』をクリックしてください。
3. ダウンロードしたファームウェアを解凍して、SDカード内にコピーします。
4. コピーが完了したSDカードを入れて本体を起動すると、自動でアップグレードが行われます。

録画データファイルの保存数

常時録画　3 分ごとに 1 ファイル（215MB）を作成

容量比率の設定	最大ファイル数				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
50%	54分	108分	213分	435分	882分
70%	72分	144分	303分	615分	1239分
80%	84分	168分	348分	705分	1419分

イベント録画　30秒単位で 1 ファイル（39MB）を作成）

容量比率の設定	最大ファイル数				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
10%	9分	19分	39分	80分	162分
20%	19分	39分	80分	162分	326分
30%	28分	58分	120分	243分	489分

モーション録画　30秒単位で 1 ファイル（39MB）を作成）

容量比率の設定	最大ファイル数				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
10%	9分	19分	39分	80分	162分
20%	19分	39分	80分	162分	326分
30%	28分	58分	120分	243分	489分

表の数値は初期設定の場合の理論値です。本体設定で画質を変更した場合や、SDカードの仕様によっては数値と異なる場合があります。

仕様一覧

項目	仕様	備考
製品名	LK-7200	
寸法／重さ	85×59×36（mm）／約80g	UVフィルタを含む
カメラ	2.1M pixel CMOS image sensor	
記憶媒体	SD／SDHC／SDXCメモリーカード（標準8GB／最大128GB）	
画角	レンズ画角：対角125°	数値は概算
	有効撮影画角：水平93°／垂直51°	
撮影画質	1920×1080p（FullHD）または1280×720p（HD）	
最大フレームレート数	30fps	
最低照度	1ルクス	
エンコード形式	H.264（AVI形式）　プロファイル：HIP（High Profile）	
再生可能なプレイヤー	Lukas Viewer または AVIフォーマットをサポートするプレイヤー	
Gセンサー	内蔵式3軸衝撃センサー（衝撃・急旋回・急発進）	
GPS	Built-in U-box6	オプション
オーディオ	内蔵マイク／スピーカー	
映像出力	NTSC／PAL	
動作電圧	DC 9V～24V	
消費電力	約200mA（13.4V）	最大
動作温度／保管温度	-20℃～70℃／-30℃～80℃	

保証とアフターサービスについて

保証規定

1. 本書の注意にしたがい正常に使用した場合に限り、お買い上げの日より1年間無償で修理または交換いたします。
2. 修理または交換の必要が生じた場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げのお店もしくは当社へご持参いただくか、ご郵送ください。
3. 修理または交換のご依頼で、ご持参およびお持ち帰りに必要な交通費、または送付いただく際の送料および諸経費につきましては、お客様がご負担いただきますようお願い致します。郵送の場合、適切な梱包の上、紛失等を避けるため簡易書留をご利用ください。
4. 保証期間内であっても以下の場合は有償修理となります。
   イ. 誤用、乱用および取り扱いの不注意による故障
   ロ. 火災、地震、水害および盗難等の災害による故障または紛失
   ハ. 許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷
   ニ. 使用中に生じたキズ等の外観上の変化
   ホ. 消耗品および付属品の故障、損傷または紛失
   ヘ. 電池の液もれによる故障、損傷
   ト. 保証書の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合）
5. 以下の内容については保証いたしかねますのでご了承ください。
   イ. 記録されたデータ
   ロ. 発生した事故の損害
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「故障かな？と思ったら」（P.32）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合は、サポートセンターまでご相談ください。

株式会社INBYTE サポートセンター

メールアドレス　admin@inbyte.jp
電話番号　03-6809-1702
受付時間　10:30～18:00
（土・日曜日、祝祭日および当社指定休業日を除く）
ホームページ　http://inbyte.jp/

- 本製品に関するお問い合わせおよびサポートについては、日本国内限定とさせていただきます。
- 通話中の場合、しばらく経ってからお掛け直しいただきますようお願いいたします。
- 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

製品保証書

機種名	LK-7200	型番	
保証期間	お買い上げ日より 1年間	お買い上げ日	年　　月　　日

お客様		
	お名前	
	ご住所	〒　　－
	お電話番号	－　　－
	電子メール	@

販売店	

●お客様へ
本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客様欄をご記入のうえ、大切に保管してください。販売店欄に記入がない場合は、お買い求めのお店に記入していただいてください。
※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではございません。

●販売店様へ
お客様へのお渡し時に、販売店欄にご記入もしくは押印ください。

インバイト
株式会社 INBYTE
〒105-0013
東京都港区浜松町1-17-4 第２丸芝ビル2階
TEL 03-6809-1702 （平日10：30～18：00）